

湯野浜源泉設備保有 株式会社



贈呈理由 > ヒートポンプで温泉未利用熱を活用し、給湯供給事業を行うことで面的な省エネを実現



集中給湯設備外観



熱回収ヒートポンプ

山形県鶴岡市湯野浜地区は、日本海の美しい白砂の海岸線に面した庄内平野の代表的な温泉地である。湯野浜温泉は湯量が豊富な塩化物泉で、地区内の旅館、民宿、個人宅の約50軒に温泉を集中配湯している。湯野浜源泉設備保有株式会社は、温泉の集中配湯に加え水道水を加熱し地域内へ湯水を供給する集中給湯事業のために、鶴岡市も一部を出資し、設立された会社である。

これまで旅館などの各施設は、重油などを用いたボイラでそれぞれ給湯を行ってきたが、老朽化した設備や燃料費の高騰に悩まされてきた。また、温泉の集中配湯設備も老朽化しており、将来への不安があった。一方、2014年度に温泉街のCO₂削減を目的とした診断事業を行っていたが、豊富な温泉未利用熱の存在、給湯や冷暖房設備の効率化の可能性を確認でき、

2016年度補助事業を利用して、ヒートポンプで温泉未利用熱を活用した集中給湯設備の整備を行うこととなった。湯野浜源泉設備保有株式会社と鶴岡市役所をはじめ、旅館など13者の共同事業であり、地域の将来を担う若手経営者たちを中心に地域全体が一丸となって計画を推進した。

集中給湯設備は、旧銀行建物内に設置した熱交換器 (105kW×3台)、熱回収ヒートポンプ(242kW×2台)からなり、あわせて集中給湯配管(約3.5km)の整備と集中配湯配管(約3.1km)の増強、参加各施設(12施設)の熱源設備見直しなどを行った。

これにより設備の電化・高効率化によるエネルギーコスト削減が期待できるとともに、CO₂排出量削減も実現できる。今後は、環境にやさしい温泉地としてPRを進めるとともに、環境的にも経済的にも持続循環可能なまちづくりを目指していく。

集中給湯設備

所在地：山形県鶴岡市湯野浜1-1-10
 蓄熱設備設計：三機工業(株)
 蓄熱設備施工：三機工業(株)
 延床面積：338㎡
 竣工：2017年(新設)
 URL：http://www.yunohamaonsen.com/
 ■設備概要
 温泉熱利用：排熱回収ヒートポンプ
 242kW×2台 [神戸製鋼所]

